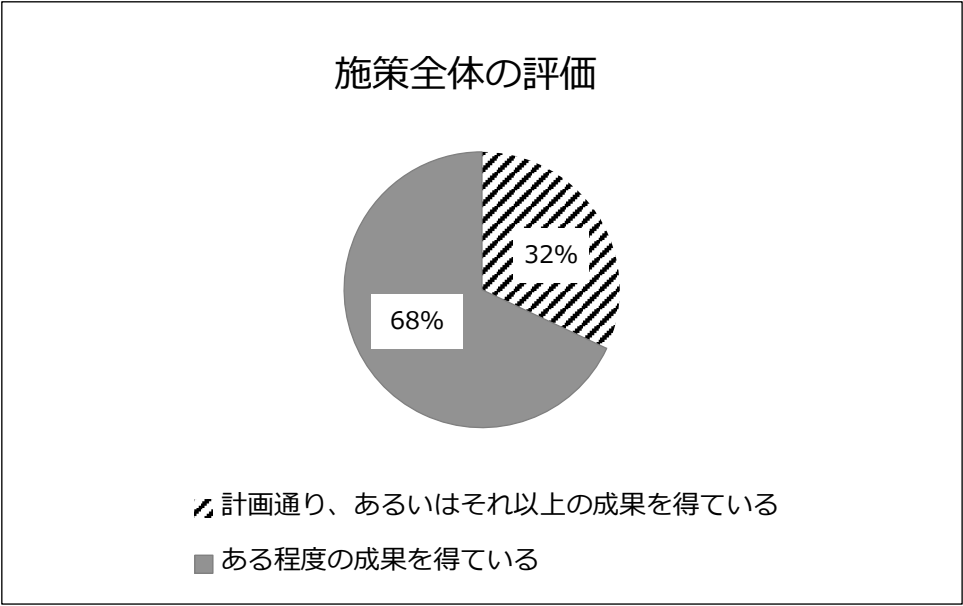


第 4 次岸和田市障害者計画の進捗状況の評価報告

1. 第 4 次計画全体の施策評価 ―基本目標単位の評価―

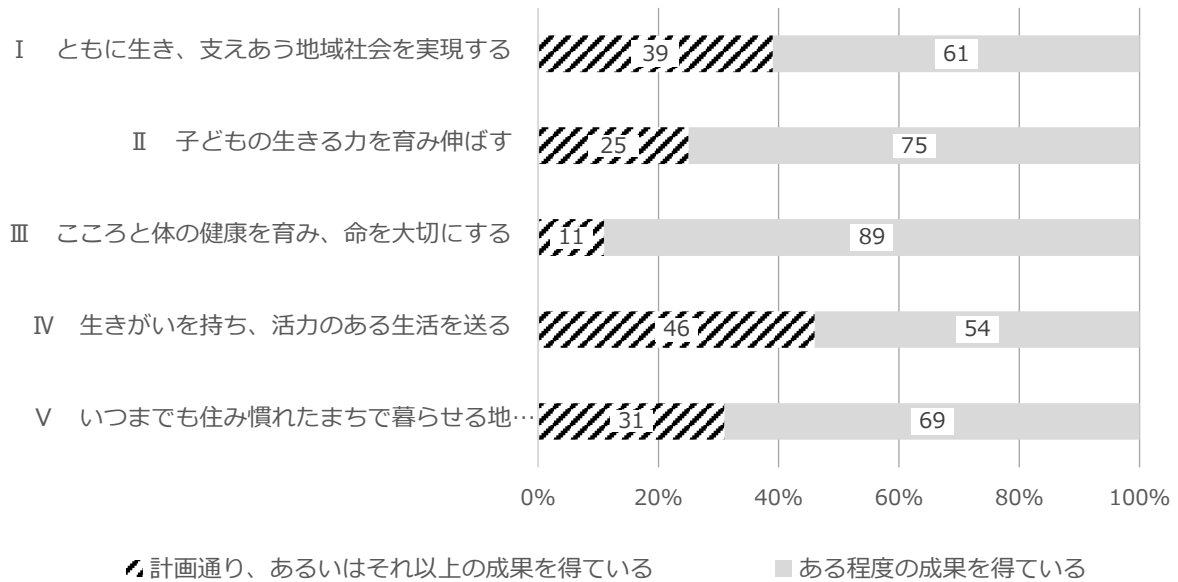
「第 4 次岸和田市障害者計画」の具体的取り組みについて、施策の担当課ごとに計画期間である 4 年間を通しての進捗状況評価を行いました。

評価方法は「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」「②ある程度の成果を得ている」「③あまり成果を得ていない」「④まったく取り組めていない」の 4 段階としました。



①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
32%	68%	0%	0%

基本目標単位の評価



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
I ともに生き、支えあう地域社会を実現する	39	61	0	0
II 子どもの生きる力を育み伸ばす	25	75	0	0
III こころと体の健康を育み、命を大切にする	11	89	0	0
IV 生きがいを持ち、活力のある生活を送る	46	54	0	0
V いつまでも住み慣れたまちで暮らせる地域生活基盤をつくる	31	69	0	0

■まとめ■

○すべての項目において、「③あまり成果を得ていない」「④まったく取り組めていない」はありませんでした。

○施策全体の評価では、「②ある程度の成果を得ている」が 68%、次いで「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が 32%でした。

○基本目標単位の評価では、「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「Ⅳ 生きがいを持ち、活力のある生活を送る」で 46%、最も低いのは、「Ⅲ ところと体の健康を育み、命を大切にする」で 11%でした。

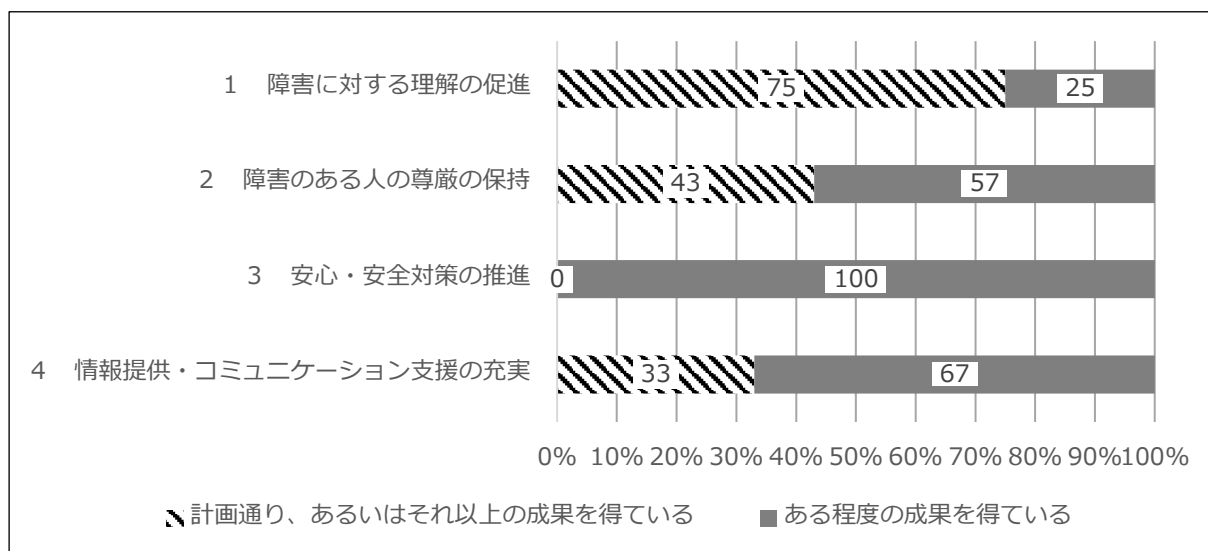
2. 基本目標ごとの施策評価

前掲の 5 つの基本目標を構成するのが施策であり、施策はさらに具体的取り組みによって構成されています。基本目標ごとの施策単位の評価と併せて、担当課より挙げられた主な取り組みは次の通りです。

基本目標Ⅰ ともに生き、支えあう地域社会を実現する

日常生活や社会生活を送る上の障壁となる社会的な制度や慣行、観念等を取り除き、障害の有無にかかわらず、だれもが相互に認めあい、支えあう社会の実現に向けて、障害や障害のある人に対する正しい知識と理解の促進や、権利の主体としての障害のある人の尊厳の保持を図ります。

また、障害のある人が住み慣れた地域で、安心・安全に生活することができるよう、地域ぐるみの防犯・防災・交通安全対策の推進とともに、情報提供やコミュニケーション支援による社会参加の促進を図ります。



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
1 障害に対する理解の促進	75	25	0	0
2 障害のある人の尊厳の保持	43	57	0	0
3 安心・安全対策の推進	0	100	0	0
4 情報提供・コミュニケーション支援の充実	33	67	0	0

1 障害に対する理解の促進

〈主な取り組み〉

- 広報きしわだへの記事の掲載、障害者差別解消法に関するセミナーの開催、障害者週間（毎年 12 月）の街頭キャンペーンや岸和田市障害者自立支援協議会の PR イベントの実施等、障害者差別解消に向けた啓発に取り組みました。
- 地域の避難訓練への障害がある人の参加促進、多世代の住民の交流の場である「誰もがつどえるリビング」の設置・運営の支援等により、地域交流を支援しました。
- 各学校の児童生徒や教職員を対象として、支援学級や支援学校との交流や共同学習の実施、車いす体験や手話等の体験的な活動、精神障害や発達障害等の研修等を実施しました。

〈施策体系〉

1 障害に対する理解の促進
（１）障害や障害のある人に関する理解の普及・啓発 ①障害や障害のある人に関する啓発活動の推進 ②障害のある人との交流の促進
（２）福祉教育・人権教育の推進 ①保育・教育の場における福祉教育の推進 ②家庭・地域における学習機会の充実

2 障害のある人の尊厳の保持

〈主な取り組み〉

- 広報きしわだやホームページへの掲載や市民対象のセミナーの開催、市職員への研修等を実施するとともに、多機関の連携を目的とした障害者差別解消支援地域協議会の開催等により、障害者差別の解消に関する啓発等に努めました。
- サービス事業者を対象とした虐待防止研修会の実施や、虐待防止ネットワーク会議代表者会議の開催等により、虐待防止と情報共有に努めました。
- 「成年後見制度利用支援事業」や社協による「日常生活自立支援事業」により、判断能力が十分でない障害のある人等が安心して生活できるように支援しました。
- 障害のある人が選挙権を行使できるよう、投票所での車椅子の配備やスロープ設置、選挙管理本部での手話通訳者の配置等、投票しやすい環境整備を行いました。

〈施策体系〉

2 障害のある人の尊厳の保持
(1) 差別の禁止 ①差別をなくすための啓発活動の推進 ②差別解消に向けた体制整備
(2) 虐待の防止と対応の充実 ①虐待防止に関する啓発活動の推進 ②虐待防止に向けた体制整備
(3) 権利擁護の推進 ①日常生活自立支援事業の利用促進 ②成年後見制度の利用促進 ③選挙における配慮の推進

3 安心・安全対策の推進

〈主な取り組み〉

- 「岸和田市避難行動要支援者支援プラン」に基づき、障害のある人等の災害時の避難に備えて、地域における支援体制整備や防災訓練等の実施、災害時の情報発信等の体制づくりを進めました。
- 「安全見まもり隊」や「こども 110 番の家」等による、地域住民による見守り活動の充実と普及啓発に努めました。
- 交通安全教室の開催や、放置禁止区域の自転車等の撤去など、障害のある人が安全に移動できる環境づくりと市民の交通安全意識の向上に努めました。

〈施策体系〉

3 安心・安全対策の推進
(1) 防災対策の推進 ①避難体制づくりの推進 ②地域での防災活動の推進
(2) 防犯・交通安全対策の推進 ①地域での防犯活動の推進 ②交通安全対策の推進

4 情報提供・コミュニケーション支援の充実

〈主な取り組み〉

- 障害のある人を対象とした行政情報等を広報きしわだやホームページに掲載して積極的な情報発信を行うとともに、広報きしわだ掲載時には、視覚障害者や弱視の人が読み取りやすい配色や配置に努めました。
- 視覚障害や聴覚障害の方への配慮として、広報きしわだの音声版「声の広報」や点字版「点字広報」の作成を行いました。
- パソコン講習会により、コミュニケーション及び情報収集の手段としてのパソコン利用の周知・拡大を図りました。
- 手話通訳者や要約筆記者の派遣や養成のための研修の実施、市民病院での手話通訳者の設置や職員に対する手話研修の実施等により、聴覚に障害のある人の意思疎通を支援しました。

〈施策体系〉

4 情報提供・コミュニケーション支援の充実
(1) 情報提供体制の充実 ①情報のバリアフリー化の推進 ②地域における情報提供の推進
(2) コミュニケーションの支援の充実

■まとめ■

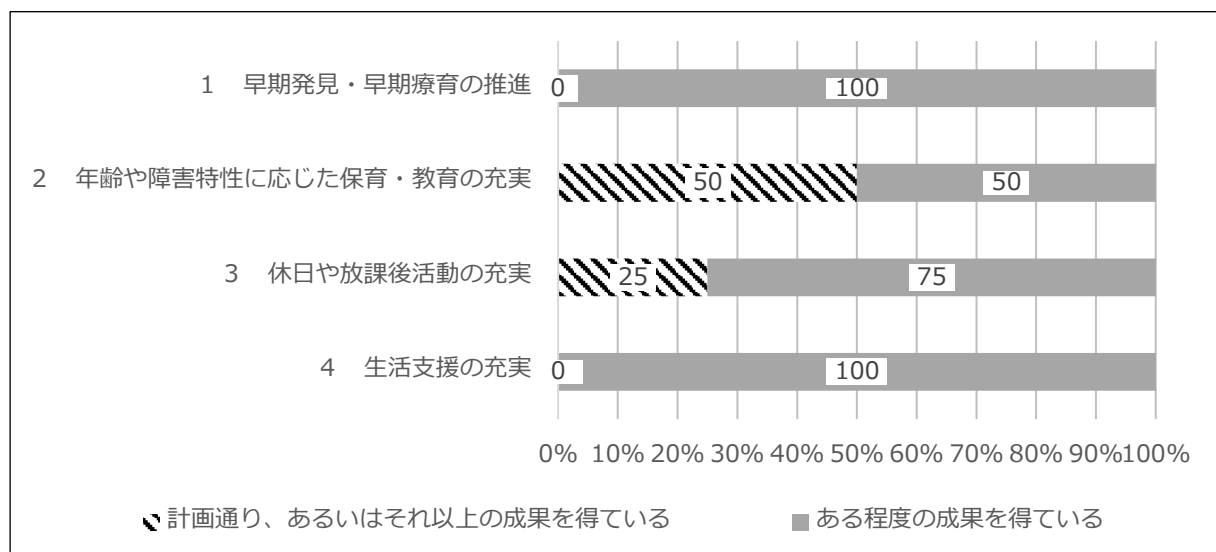
- 4つの施策の中で「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「1 障害の対する理解の促進」で75%、最も低いのは、「3 安心・安全対策の推進」で0%でした。
- 「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・障害者週間（毎年12月）における街頭キャンペーン等啓発活動
 - ・障害者差別解消法についての市民対象セミナーの開催
 - ・選挙投票所での車椅子やスロープの設置、選挙管理本部での手話通訳者の配置 など
- 「②ある程度の成果を得ている」主な取り組み例は、
 - ・虐待防止ネットワーク会議代表者会議を開催するとともに関係機関と情報を共有
 - ・「岸和田市避難行動要支援者支援プラン」に基づく体制づくり

- ・多世代の住民の交流の場である「誰もがつどえるリビング」の設置・運営の支援
- ・事業者を対象にした虐待防止研修会の実施
- ・成年後見制度利用支援事業や日常生活自立支援事業の実施
- ・広報きしわたの音声版「声の広報」や点字版「点字広報」の作成 など。

基本目標Ⅱ 子どもの生きる力を育み伸ばす

障害のある児童やその家族に向けて、障害や発達の遅れの早期発見・早期療育への対応の充実とともに、一人ひとりの障害特性やライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援の充実を図ります。

そのためには、個々のニーズに応じた保育・教育環境の充実を図るとともに、家族のレスパイトも視野に入れた休日や放課後等における文化・スポーツ活動の充実、障害のある児童の居場所づくりを推進します。



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
1 早期発見・早期療育の推進	0	100	0	0
2 年齢や障害特性に応じた保育・教育の充実	50	50	0	0
3 休日や放課後活動の充実	25	75	0	0
4 生活支援の充実	0	100	0	0

1 早期発見・早期療育の推進

〈主な取り組み〉

- 乳幼児期の定期健康診査や経過観察健康診査等で疾病や障害の早期発見に努めるとともに、健康診査に従事する専門職のスキルアップを目指した勉強会等を開催しました。
- 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のため、助産師等の専門的な見地から、支援を必要とする妊産婦等を早期に把握するとともに、フォロー訪問指導（訪問指導・電話相談）やママにっこり相談（来所相談）を実施しました。
- 平成 29 年 8 月 1 日より多機能型児童発達支援センターとして「岸和田市立総合通園センター」を開設しています（「パピースクール」では福祉型児童発達支援、「いながわ療育園」では医療型児童発達支援を実施）
- あゆみファイルの適正な活用を促進するため、障害児療育部会が主催して、「あゆみファイル」の活用に関する研修を実施しました。

〈施策体系〉

1 早期発見・早期療育の推進
（１）早期発見のための取り組み推進 ①各種検診の充実 ②相談支援の充実
（２）乳幼児期の療育支援の充実 ①療育支援施設の充実 ②療育支援体制の整備

2 年齢や障害特性に応じた保育・教育の充実

〈主な取り組み〉

- 幼児期から学童期に至るまで、障害特性やライフステージに応じた適切な保育・教育が受けられるよう、支援に関する相談や就学相談等を実施して個々のニーズに丁寧に対応するほか、特別支援教育に関する研修や情報提供を行い、教職員の資質の向上や受け入れ態勢の充実を図りました。
- ライフステージが大きく変わる就学時に一番多く作成される「あゆみファイル」の必要性について、巡回相談時に保護者等への説明を行い、一人ひとりの支援情報の適切な引き継ぎがスムーズに行えるよう取り組みました。
- 医療的ケアが必要な児童生徒のために市立学校に看護師を継続して配置し、日常の体調面や精神的なケアも行う等、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう取り組みました。

〈施策体系〉

2 年齢や障害特性に応じた保育・教育の充実
(1) 幼児保育・教育の充実 ①保育・教育体制の充実 ②職員の研修の充実
(2) 小・中学校における教育の充実 ①教育体制の充実 ②教職員の研修の充実
(3) 後期中等教育における教育の充実
(4) 医療的ケアを必要とする児童への対応の充実

3 休日や放課後活動の充実

〈主な取り組み〉

- 夏休み短期講座により、科学実験、工作、軽運動などさまざまなジャンルの子ども向け講座を毎年実施しました。
- 障害児・者体操教室の実施（月1回）や、自主グループへの活動支援等、スポーツ・レクリエーション活動の機会や場所を提供しました。
- 小学生を対象としたチビッコホーム（放課後児童クラブ）や放課後子ども教室の実施に加えて、放課後等デイサービスの提供を行い、放課後の児童の居場所づくりに努めました
- 多世代の住民の交流の場である「誰もがつどえるリビング」の設置・運営の支援、市内で市民有志が取り組む誰もが参加できる食事提供がある居場所の設置・運営の支援を行いました。

〈施策体系〉

3 休日や放課後活動の充実
(1) 文化・スポーツ活動の充実 ①文化活動の充実 ②スポーツ・レクリエーション機会の提供
(2) 居場所づくりの推進 ①放課後等における居場所の確保 ②地域における居場所づくりの推進

4 生活支援の充実

〈主な取り組み〉

- 障害のある児童が必要な障害福祉サービスを受けられる提供体制の充実と、各種手当等の情報提供・広報に努めました。
- 医療的ケアを必要とする児童の受け入れ先確保の必要性について、事業者に向けて現状の周知等に努めました。

〈施策体系〉

4 生活支援の充実
(1) 障害福祉サービスの提供
(2) 各種手当制度の周知

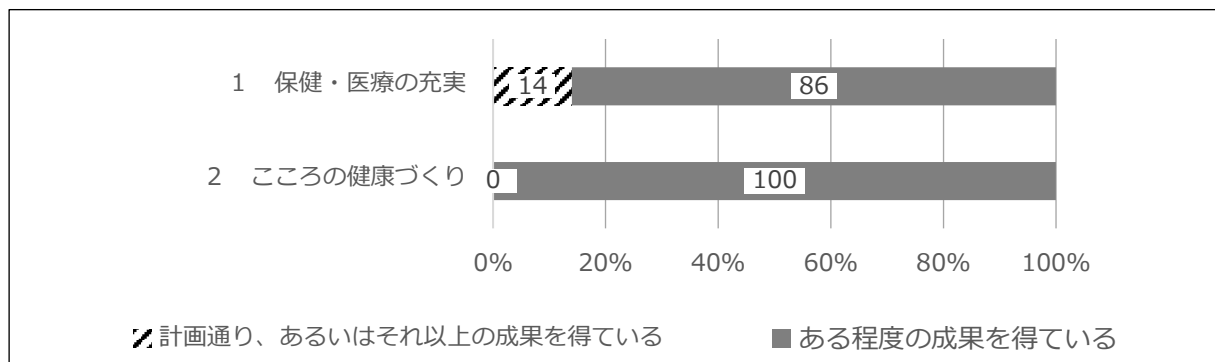
■まとめ■

- 4つの施策の中で「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「2 年齢や障害特性に応じた保育・教育の充実」で50%、最も低いのは、「1 早期発見・早期療育の推進」と「4 生活支援の充実」で0%でした。
- 「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・医療的ケアが必要な児童生徒のための小中学校への看護師の配置
 - ・障害児・者体操教室の実施 など。
- 「②ある程度の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・「岸和田市立総合通園センター」の開設・運営
 - ・「あゆみファイル」を活用したスムーズな移行支援の実施
 - ・放課後子ども教室、チビッコホーム（放課後児童クラブ）の実施、放課後等デイサービスの活用
 - ・多世代の住民の交流の場である「誰もがつどえるリビング」の設置・運営の支援 など。

基本目標Ⅲ こころと体の健康を育み、命を大切にする

障害のある人が安心して自立した生活を送ることができるよう、必要なときに適切な医療を受けることができる地域医療体制の充実を図るとともに、生活習慣病等の二次障害を予防するため、日頃の健康づくりや介護予防の取り組みを推進します。

また、ストレスや悩みをため込みすぎないように、こころの健康づくりに関する取り組みの充実を図り、心身ともに健康な生活を送るための支援を行います。



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
1 保健・医療の充実	14	86	0	0
2 こころの健康づくり	0	100	0	0

1 保健・医療の充実

〈主な取り組み〉

- 保健師等による健康相談、栄養士による個別栄養相談、歯科衛生士による個別歯科相談を実施するとともに、健診・検診の実施や健康教室・介護予防教室等の実施、市民への啓発等による健康意識の向上によって、健康な身体を保つことができるよう努めました。
- 市民病院における手話通訳者の配置により、聴覚に障害のある人がコミュニケーションを取りやすいように配慮しました。
- 在宅医療介護連携拠点会議の開催による関係者間での情報共有・連携の強化や、地域の歯科診療所で治療を受けることが困難な市内在住の障害児者を対象に、障害者歯科診療を開始する等により、医療サービスの充実に努めました。
- 身近な地域でリハビリテーションを受けることができるよう、回復期リハビリテーションや外来リハビリテーション医療機関の情報把握に努め、個人のニーズに合った医療機関の情報提供に努めました。
- 対人関係や体調等の理由でサービスを利用していない障害者に委託相談支援事業所や地域活動支援センターを案内し、継続的な相談に繋げるよう努めました。
- 市内外 12 医療機関との市民病院連携懇話会を年 1 回、市内 15 病院との病病連携会議を年 4 回開催し、情報交換と現状や問題点等を共有・把握を行い、連携強化に努めました。

〈施策体系〉

1 保健・医療の充実
(1) 健康づくりの充実 ①各種健診等の充実 ②健康づくり、介護予防の促進
(2) 地域医療の充実 ①医療機関における受け入れ体制の整備 ②医療サービスの充実
(3) 地域リハビリテーションの推進 ①リハビリテーションの総合化 ②多様な支援ネットワークづくり
(4) 個別のニーズに対応する関連機関の連携強化

2 こころの健康づくり

〈主な取り組み〉

- 庁内外の相談機関の連携を図るとともに、相談会やゲートキーパー養成研修の開催、相談カードの配布等により、自殺予防対策を推進しました。
- 令和2年3月に策定した「岸和田市いのち支える自殺対策計画」を推進しました。
- 岸和田市基幹相談支援センターや委託相談支援事業所、コミュニティソーシャルワーカー、児童部門と連携して、相談体制の充実を図りました。

〈施策体系〉

2 こころの健康づくり
(1) こころの健康づくりの推進 ①こころの健康づくりに関する啓発活動の推進 ②相談体制の充実

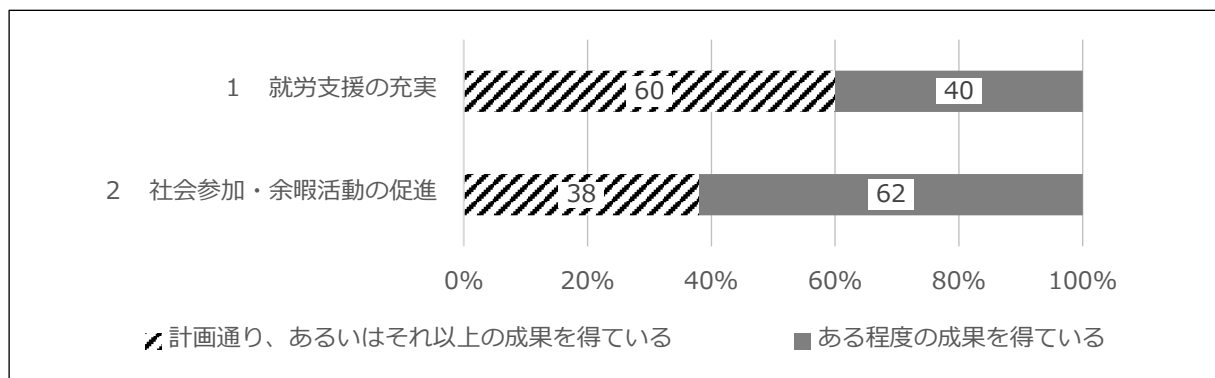
■まとめ■

- 2つの施策の中で「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「1 保健・医療の充実」で14%、最も低いのは、「2 こころの健康づくり」で0%でした。
- 「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・保健師等による健康相談、栄養士による個別栄養相談、歯科衛生士による個別歯科相談の実施 など。
- 「②ある程度の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・市民病院における手話通訳者の配置
 - ・障害者歯科診療の実施
 - ・サービスを利用していない障害者に対する委託相談支援事業所や地域活動支援センターについての情報提供
 - ・「岸和田市いのち支える自殺対策計画」の推進 など。

基本目標Ⅳ 生きがいを持ち、活力のある生活を送る

就労は自立した生活を送るための手段にとどまらず、障害のある人の社会参加や生きがいにもつながる重要な要素となります。障害のある人が、自らの意思や能力に応じて仕事を選択できるよう、事業所等への啓発や雇用の場の創出を図るとともに、長く働き続けるための就労支援の充実に取り組みます。

さらに、いきいきと活力ある生活を送るために欠かすことのできない社会参加や余暇活動及びそれに伴う外出・移動支援の充実を図ります。



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
1 就労支援の充実	60	40	0	0
2 社会参加・余暇活動の促進	38	62	0	0

1 就労支援の充実

〈主な取り組み〉

- 関係機関と連携し、事業主等が障害者雇用に関する理解と認識を深めることができるようチラシやメールマガジン等を活用し啓発しました。
- 障害者雇用就労相談や就労困難者等雇用相談、就職模擬面接会等を通して、雇用・就労支援を行いました。
- 大阪障害者職業能力開発校で実施する職業訓練等の案内配布や、障害のある人の市役所での実習受入れ等の取組を行いました。
- 自立支援協議会においては就労関係機関との情報交換を行ったり、支援学校進路相談会に出席して卒業後の進路に関する個別相談を行う等、就労に向けた取組を行いました。

〈施策体系〉

1 就労支援の充実
(1) 雇用・就労の促進 ①障害者雇用に関する啓発活動の促進 ②就労相談の充実 ③職業訓練・職場実習の推進
(2) 雇用・就労機会の創出
(3) 就労継続（定着）に向けた取り組みの充実

2 社会参加・余暇活動の促進

〈主な取り組み〉

- 広報やリーフレット等の各種媒体による障害者団体の活動の周知や、研修会、レクリエーション等の障害福祉団体の活動を支援しました。
- 障害のある人と地域の人々が、ともに学びあい、つながりの場を創りだしていく活動、「岸和田市障害者学級」の支援に努めました。
- 発達障害や学習障害、精神障害の理解のための講座を開催するほか、ボランティアの養成を目的とする各種講座を開催しました。
- こどものためのアートマルシェのワークショップ（子ども向けの文化芸術体験）への参加機会の創出、対面朗読サービス・「声の新作案内」の発行・点字・録音図書の貸出や宅配サービス等による図書館機能の充実に努めました。
- 大阪府障害者スポーツ大会への選手の派遣支援や岸和田障害者スポーツ（FD）への活動支援、各障害者スポーツグループの支援等を行いました。

- 誰もが利用しやすいように施設のバリアフリー化に努めました。
- いきいき学びのプランについて、点字版・音声版を作成し、生涯学習情報を提供しました。

〈施策体系〉

2 社会参加・余暇活動の促進
(1) 交流・ふれあいの場の創出 ①障害者団体の活動支援 ②交流の促進
(2) 文化・スポーツ・レクリエーション活動の促進 ①各種講座の提供 ②文化活動の促進 ③スポーツ・レクリエーション活動の促進 ④施設のバリアフリー化
(3) 外出・移動支援の充実 ①情報提供の充実 ②外出支援サービスの充実

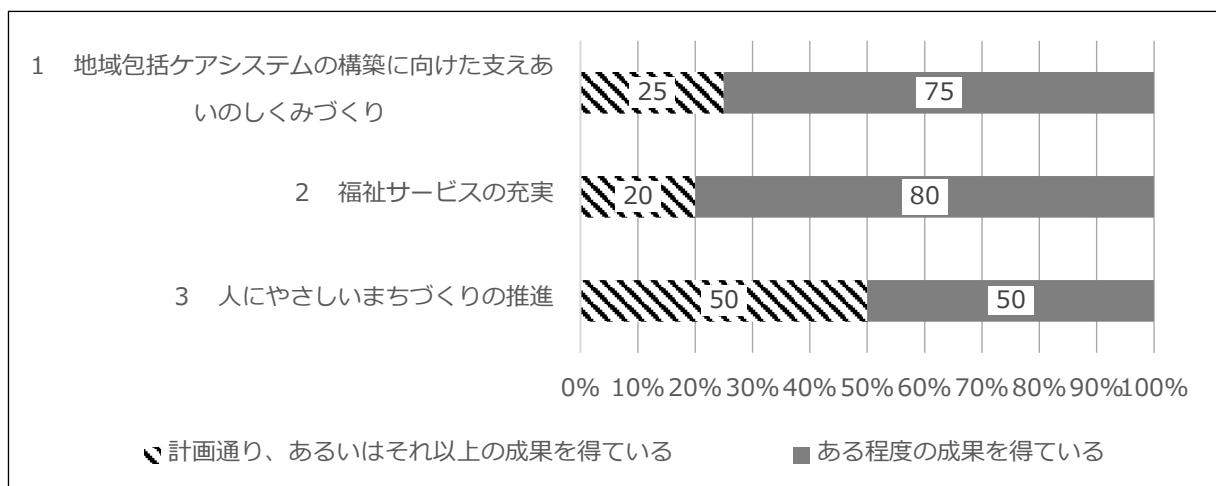
■まとめ■

- 2つの施策の中で「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「1 就労支援の充実」で60%、最も低いのは、「2 社会参加・余暇活動の促進」で38%でした。
- 「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・チラシやメールマガジン等を活用した事業主等への障害者雇用に関する啓発
 - ・障害のある人の市役所での実習受け入れ
 - ・大阪府障害者スポーツ大会への選手の派遣支援や岸和田障害者スポーツ（FD）への活動支援 など。
- 「②ある程度の成果を得ている」主な取り組み例
 - ・岸和田市障害者学級への支援
 - ・対面朗読サービスの実施、「声の新作案内」の発行、大活字本の配架、点字・録音図書の貸出・宅配サービスの実施
 - ・障害者スポーツ大会や地域のゲートボール大会等の余暇活動への手話通訳者等の派遣 など。

基本目標Ⅴ いつまでも住み慣れたまちで暮らせる地域生活基盤をつくる

地域包括ケアシステムについて、高齢者のみならず、子どもや障害のある人を含めた地域のすべての人を対象とする仕組みを構築するため、その基盤となる地域における支えあいや相談支援体制の充実を図ります。

また、住み慣れたまちでいつまでも安心して暮らすことができるよう、障害のある人やその家族、すなわちサービス利用者本位の考え方に立った福祉サービスの充実や、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進により、地域のすべての人が快適に過ごせる人にやさしいまちづくりに取り組みます。



単位：％

	①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている	②ある程度の成果を得ている	③あまり成果を得ていない	④まったく取り組めていない
1 地域包括ケアシステムの構築に向けた支えあいのしくみづくり	25	75	0	0
2 福祉サービスの充実	20	80	0	0
3 人にやさしいまちづくりの推進	50	50	0	0

1 地域包括ケアシステムの構築に向けた支えあいのしくみづくり

〈主な取り組み〉

- 避難行動要支援者への日頃からの見守り活動の提案や、障害のある人に地域の避難訓練の情報を提供するなど、地域内での福祉活動について支援しています。また、サロン等における地域での障害のある人との交流の場づくり等に努めました。
- ボランティアスタイル事業において、放課後児童デイサービス施設でのボランティア体験プログラムや障害者学級でのボランティア体験プログラム等に取り組みました。
- 障害がある人のボランティア活動相談を受け付け、活動先へのオリエンテーションおよびマッチング、および活動のサポートを行ないました。
- 「岸和田市障害者基幹相談支援センター」を拠点とし、市内の委託相談支援事業所において、障害のある人やその家族からの地域生活に関する相談対応や関係機関との連携による支援を行っています。また、障害者相談員の委嘱により、身近な地域における相談支援を行いました。

〈施策体系〉

1 地域包括ケアシステムの構築に向けた支えあいのしくみづくり
(1) 住民参加の促進 ①地域福祉活動の推進 ②ボランティア活動の推進
(2) 相談支援体制の充実 ①相談対応の充実 ②ケアマネジメント体制の充実

2 福祉サービスの充実

〈主な取り組み〉

- 障害福祉サービスや地域生活支援事業等、関連する福祉サービス等について、相談支援専門員等との連携により、障害特性や個別のニーズに応じた必要な支援が行えるよう努めました。
- 精神障害者及びその家族等の団体が行う精神障害者の社会復帰に関する活動に対する情報提供等の支援を市内の団体に委託し行いました。
- 重度の等級の手帳所持者のうち、サービス未利用者の訪問を行い、必要に応じて委託相談支援事業者やサービス利用案内を行いました。

〈施策体系〉

2 福祉サービスの充実
(1) 地域生活支援・サービスの充実 ①障害特性や個々のニーズへの対応の充実 ②障害福祉サービスの充実 ③地域生活支援事業の充実
(2) 家族介護者への支援 ①相談支援体制の充実 ②サービスの利用促進

3 人にやさしいまちづくりの推進

〈主な取り組み〉

- 法や府条例に基づいて、道路等都市基盤のバリアフリー化を進めました。
- 住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育する者、等）が安心して住まいを探すことができるよう「住まい探し相談会」を開催するとともに、民間賃貸住宅への入居支援・入居後の見守り等を実施しました。

〈施策体系〉

3 人にやさしいまちづくりの推進
(1) 利用しやすい快適な都市基盤づくり ①都市施設の整備の推進 ②交通環境の整備の推進
(2) 生活しやすい住まいづくり ①住まいの確保 ②住宅環境の充実

■まとめ■

- 3つの施策の中で「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」が最も高いのは、「3 人にやさしいまちづくりの推進」で 50%、最も低いのは、「2 福祉サービスの充実」で 20%でした。

○「①計画通り、あるいはそれ以上の成果を得ている」主な取り組み例

- ・ボランティアスタイル事業において、放課後児童デイサービス施設でのボランティア体験プログラム・障害者学級でのボランティア体験プログラムの実施
- ・法や府条例に基づく、道路等都市基盤のバリアフリー化の推進 など。

○「②ある程度の成果を得ている」主な取り組み例

- ・「岸和田市障害者基幹相談支援センター」を拠点とし、障害者相談支援事業所における相談対応や関係機関との連携・支援の実施
- ・住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育する者等）の民間賃貸住宅への入居支援及び入居後の見守りを実施 など。